

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	鹿児島キャリアデザイン専門学校
設置者名	学校法人 原田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	I T スペシャリスト科	夜・通信	180 単位時間	160 単位時間	
	I T 専攻科	夜・通信	300 単位時間	80 単位時間	
	自動車整備科	夜・通信	165 単位時間	160 単位時間	
	グラフィック科 2Dコース	夜・通信	180 単位時間	160 単位時間	
	グラフィック科 アニメーションコース	夜・通信	180 単位時間	160 単位時間	
	クリエイター専攻科	夜・通信	300 単位時間	80 単位時間	
	T V 映像音響科 映像コース	夜・通信	180 単位時間	160 単位時間	
	T V 映像音響科 舞台コース	夜・通信	180 単位時間	160 単位時間	
商業実務専門課程	医療情報管理学科	夜・通信	270 単位時間	240 単位時間	
	医療福祉秘書科	夜・通信	240 単位時間	160 単位時間	
	医療福祉事務科	夜・通信	240 単位時間	80 単位時間	
教育・社会福祉専門課程	こども学科	夜・通信	180 単位時間	160 単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.harada-gakuen.ac.jp/career/school/joho_koukai/syllabus/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	鹿児島キャリアデザイン専門学校
設置者名	学校法人 原田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://harada-gakuen.ac.jp/files/2025/members202505.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	迫公認会計士事務所 公認会計士	R7.5.30～ R10 年度定 時評議員会 終結時まで	財務担当
非常勤	社会福祉法人慈愛会 理事	R7.5.30～ R10 年度定 時評議員会 終結時まで	ガバナンス担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鹿児島キャリアデザイン専門学校
設置者名	学校法人 原田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
シラバス作成ガイドラインに従い、原則として各教科の担当者が作成する。シラバスは、教務主任、各学科の学科長および常勤教員によるチェックを行い、学校長の承認を得て、ホームページ及び学生に公表する。公表後にシラバスが変更となった場合、ホームページのシラバスを更新し、変更箇所を学生へ周知する。 授業計画作成期限：前年度3月末日 授業計画公表時期：毎年度4月上旬	
授業計画書の公表方法	https://www.haradagakuen.ac.jp/career/school/joho_koukai/syllabus/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
成績評価は、考查並びに出席状況、日頃の学習状況（平素の学習態度及びグループワーク等の参加状況）および学習報告（課題実習・実習内容等の報告）等を総合して評価する。 各科目について100点満点をもって表し、学年成績は5段階法（秀・優・良・可・不可）によるものとする。 成績考查は、原則として科目の講義が終了したとき、あるいは定期考查にて行うものとする。 単位取得の認定は、進級学年においては進級判定会議にて、卒業学年においては卒業判定会議にて行う。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価は各科目について100点満点をもって表し、学年成績は5段階法によるものとする。評価及び評価基準は次のとおりとする。

評価	評価基準	グレード・ポイント (GP)
秀	90点～100点	4
優	80点～89点	3
良	70点～79点	2
可	60点～69点	1
不可	59点以下	0

成績評価による学習成果を総合的に判断する指標として、Grade Point Average (以下「GPA」とする)を用いる。

GPAは、個々の学生が受講した全科目の習熟度の平均を下記の算出方法により表すもので、成績通知書、成績証明書などに記載する。

(1) 前条の成績評価基準に準じ、各履修科目に対して5段階の数値 (GP) を設定する。

(2) 各履修科目の単位数に、履修科目のGPをかけた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の単位数の合計で割ったものをGPAとし、計算式は以下のとおりとする。

$$GPA = (\text{履修科目の単位数} \times \text{履修科目のGP}) \text{の合計} / \text{全履修科目の単位数の合計}$$

(3) GPAの計算は、小数点第3位以下を四捨五入する。

(4) 全履修科目の単位数の合計には、評価が「不可」となった科目の単位数についても含むものとする。

学習成績評価は、学年終了時に確定するものとする。ただし、前期に評価が定まった科目については、前期終了時に確定するものとする。

算出されたGPAの総合評価の目安は、下表のとおりとする。

GPA	総合評価
3.50～4.00	大変優秀な成績である。
3.20～3.49	優秀な成績である。
1.60～3.19	良好な成績である。
1.00～1.59	努力が必要である。
0～0.99	より一層の努力が必要である。

成績評価の実施については、細則「学習評価及び履修認定規程」に定め、GPAの算出方法は、学科で共通とする。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

https://harada-gakuen.ac.jp/career/wp-content/uploads/2025/06/R07_gakusoku.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
工業分野においては日々高度化する技術革新に対応できる知識と技術を備えた者，文化・教養分野においては時代のニーズに応えられる実践的で有能なクリエイターなどの知識と技術を備えた者，商業分野においては医療秘書・医療事務に的確に対応できる知識と技術を備えた者，教育・社会福祉分野においては保育・幼児教育において社会の多様化したニーズに的確に対応できる知識や技術を備えた者，衛生分野においてはビューティ業界やブライダル業界で活躍できる優れた技能や有能な知識を備えた者に対して，卒業判定会議において卒業の認定を行う。 また，卒業の認定においては，出席日数が各学年の出席すべき日数の3分の2を超えており，各教科の出席が時数の3分の2を超え，かつ教科の成績が不可（60点未満）でないこと，および授業料等が完納していることとする。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://harada-gakuen.ac.jp/career/wp-content/uploads/2025/06/R07_gakusoku.pdf

様式第2号の4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4－①を用いること。

学校名	鹿児島キャリアデザイン専門学校
設置者名	学校法人 原田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.harada-gakuen.ac.jp/files/2025/balance.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.harada-gakuen.ac.jp/files/2025/statement.pdf
財産目録	https://www.harada-gakuen.ac.jp/files/2025/property.pdf
事業報告書	https://www.harada-gakuen.ac.jp/files/2025/business_report.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.harada-gakuen.ac.jp/files/2025/audit_report.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	I T スペシャリスト科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	1,710 単位時間	540 単位時間	60 単位時間	1,230 単位時間	0 単位時	0 単位時間	
			1,830 単位時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60 人		61 人	0 人	4 人	5 人	9 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） シラバス作成ガイドラインに従い、原則として各教科の担当者が作成する。シラバスは、教務主任、各学科の学科長および常勤教員によるチェックを行い、学校長の承認を得て、ホームページ及び学生に公表する。公表後にシラバスが変更となった場合、ホームページのシラバスを更新し、変更箇所を学生へ周知する。 授業計画作成期限：前年度 3 月末日 授業計画公表時期：毎年度 4 月上旬
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価は、考查並びに出席状況、日頃の学習状況（平素の学習態度及びグループワーク等の参加状況）および学習報告（課題実習・実習内容等の報告）等を総合して評価する。 各科目について 100 点満点をもって表し、学年成績は 5 段階法（秀・優・良・可・不可）によるものとする。 成績考查は、原則として科目の講義が終了したとき、あるいは定期考查にて行うものとする。 単位取得の認定は、進級学年においては進級判定会議にて、卒業学年においては卒業判定会議にて行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 工業分野においては日々高度化する技術革新に対応できる知識と技術を備えた者、時代のニーズに応えられる実践的で有能なクリエイターなどの知識と技術を備えた者、商業分野においては医療秘書・医療事務に的確に対応できる知識と技術を備えた者、教育・社会福祉分野においては保育・幼児教育において社会の多様化したニーズに的確に対応できる知識や技術を備えた者に対して、卒業判定会議において卒業の認定を行う。 また、卒業の認定においては、出席日数が各学年の出席すべき日数の 3 分の 2 を超えており、各教科の出席が時数の 3 分の 2 を超え、かつ教科の成績が不可（60 点未満）でないこと、および授業料等が完納していることとする。
学修支援等
（概要） 補習授業、個別指導、保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37 人 (100%)	3 人 (8.1%)	34 人 (91.9%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） ICT 業界（システム開発会社、SI 企業等）			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談、面接指導、キャリアセンターによる就職指導、校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、J 検情報活用試験、情報処理技術者能力認定試験、C 言語プログラミング能力認定試験、Java プログラミング能力認定試験、CompTIA IT Fundamentals 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
76 人	3 人	3.9%
（中途退学の主な理由） 学業不振，学校生活不適應，進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	I T 専攻科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼間	855 単位時間	75 単位時間	0 単位時間	780 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			810 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
2 人		3 人	0 人	4 人	5 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（I T スペシャリスト科） の記載と同じ	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（I T スペシャリスト科） の記載と同じ	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（I T スペシャリスト科） の記載と同じ	
学修支援等	
（概要） 補習授業，個別指導，保護者への電話連絡ならびに面談等	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者試験，J 検情報活用試験，情報処理技術者能力認定試験，C 言語プログラミング能力認定試験，Java プログラミング能力認定試験，CompTIA IT Fundamentals 等			
（備考）（任意記載事項） 本学科の入学資格は，本校 I T スペシャリスト科の卒業生にのみ与えられる			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	自動車整備科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,720 単位時間	575 単位時間	0 単位時間	1,145 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,870 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		48 人	9 人	6 人	1 人	7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科） の記載と同じ	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科） の記載と同じ	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科） の記載と同じ	
学修支援等	
（概要） 補習授業，個別指導，保護者への電話連絡ならびに面談等	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
35人 (100%)	0人 (0%)	35人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 自動車整備業（メーカー系自動車販売会社，建設機械整備業等）			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国家二級ガソリン自動車整備士，国家二級ジーゼル自動車整備士，国家二級自動車シャシ整備士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
75 人	6 人	8%
（中途退学の主な理由） 進路変更，学業不振，学校生活不適応		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	グラフィック科 2Dコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,740 単位時間	300 単位時間	1260 単 位時間	0 単位時間	0 単位時間	180 単位時間
			1,710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人の内数		29 人	0 人	3 人	6 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科） の記載と同じ
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科） の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科） の記載と同じ
学修支援等
（概要） 補習授業，個別指導，保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20 人 (100%)	0 人 (0%)	18 人 (90%)	2 人 (10%)
（主な就職、業界等） デザイン業界，印刷業界，3Dデザイナー，販売職ほか			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企 業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定3級，2級，UC級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40 人	6 人	15%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情，学業不振，学校生活不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	グラフィック科 アニメーションコース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1,740 単位時間	300 単位時間	1260 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	180 単位時間
			1,710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人の内数		38 人	0 人	3 人	6 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科）の記載と同じ	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科）の記載と同じ	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科）の記載と同じ	
学修支援等	
（概要） 補習授業，個別指導，保護者への電話連絡ならびに面談等	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24 人 (100%)	0 人 (0.0%)	11 人 (45.8%)	13 人 (54.2%)
（主な就職、業界等） アニメ業界，総合職，製造職ほか			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定3級，2級，UC級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41 人	1 人	2.4%
(中途退学の主な理由) 学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	クリエイター専攻科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼間	870 単位時間	60 単位時間	0 単位時間	810 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			810 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
2 人		0 人	0 人	3 人	6 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科） の記載と同じ
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科） の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科） の記載と同じ
学修支援等
（概要） 補習授業，個別指導，保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定3級，2級，UC級等			
（備考）（任意記載事項） 本学科の入学資格は，本校グラフィック科の卒業生にのみ与えられる			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	T V映像音響科 映像コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1, 710 単位時間	420 単位時間	1, 110 単位時間	180 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1, 710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人の内数		22 人	0 人	5 人	10 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（I Tスペシャリスト科）の記載と同じ
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（I Tスペシャリスト科）の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（I Tスペシャリスト科）の記載と同じ
学修支援等
（概要） 補習授業，個別指導，保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14 人 (100%)	0 人 (0.0%)	12 人 (85.7%)	2 人 (14.3%)
（主な就職、業界等） 映像制作会社，ポストプロダクション，フォトスタジオ，販売等			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） フルハーネス型墜落制止用器具特別教育，足場の組立て等特別教育， 肖像写真デジタル作業，映像音響処理技術者資格認定試験，色彩検定U C級等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29 人	2 人	6.9%
(中途退学の主な理由) 学校生活不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	T V映像音響科 舞台コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1, 710 単位時間	270 単位時間	1, 350 単位時間	90 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1, 710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人の内数		28 人	1 人	5 人	11 人	16 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（I Tスペシャリスト科） の記載と同じ
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（I Tスペシャリスト科） の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（I Tスペシャリスト科） の記載と同じ
学修支援等
（概要） 補習授業，個別指導，保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 (100%)	0 人 (0.0%)	15 人 (83.3%)	3 人 (16.7%)
（主な就職、業界等） 舞台音響照明会社，ホール管理，スタジオ管理，写真館等			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） フルハーネス型墜落制止用器具特別教育，足場の組立て等特別教育 舞台機構調整技能士3級，MIDI 検定，色彩検定U C級等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38 人	2 人	5.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更，学校生活不適応		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	医療情報管理学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	2,640 単位時間	2,070 単位時間	450 単位時間	120 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2,640 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人		50 人	0 人	9 人	9 人	18 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科） の記載と同じ	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科） の記載と同じ	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科） の記載と同じ	
学修支援等	
（概要） 補習授業，個別指導，保護者への電話連絡ならびに面談等	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
35 人 (100%)	0 人 (0.0%)	35 人 (100%)	0 人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 総合病院，病院，IT 企業等			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療情報管理士，医療情報技師，ドクターズクラーク，診療報酬請求事務能力認定試験（医科）等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
75 人	4 人	5.3%
(中途退学の主な理由) 学業不振，進路変更，病気療養		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	医療福祉秘書科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1, 710 単位時間	1, 440 単位時間	360 単位時間	90 単位時間	0 単時時間	0 単位時間
			1, 890 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		35 人	0 人	8 人	2 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科）の記載と同じ
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科）の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科）の記載と同じ
学修支援等
（概要） 補習授業，個別指導，保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 (100%)	0人 (0.0%)	21人 (100%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 病院，クリニック，一般企業等			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療報酬請求事務能力認定試験（医科），医事コンピュータ技能検定，医療事務技能審査試験等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40 人	2 人	5%
(中途退学の主な理由) 病気療養，進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	医療福祉事務科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼間	870 単位時間	690 単位時間	120 単位時間	60 単位時間	0 単時時間	0 単位時間
			900 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		7 人	0 人	7 人	1 人	8 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科）の記載と同じ
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科）の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科）の記載と同じ
学修支援等
（概要） 補習授業，個別指導，保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (0.0%)	0人 (0.0%)	6人 (100%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 病院，クリニック等			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 医療事務技能審査試験，医事コンピュータ技能検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	こども学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1, 890 単位時間	1, 410 単位時間	105 単位時間	480 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1, 995 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100 人		48 人	0 人	7 人	28 人	35 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科）の記載と同じ
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科）の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の4－② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科）の記載と同じ
学修支援等
（概要） 補習授業，個別指導，保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37 人 (100%)	1 人 (2.7%)	34 人 (91.9%)	2 人 (5.4%)
（主な就職、業界等） 認定こども園・幼稚園・保育園・施設			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士・幼稚園教諭2種免許・社会福祉主事任用資格・おもちゃインストラクター・メンタルケアカウンセラー・赤十字ベーシックライフサポーター			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61 人	2 人	3.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更，病気療養		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
I T スペシャリスト科	150,000 円	730,000 円	200,000 円	施設管理費，在籍管理費
I T 専攻科	150,000 円	300,000 円	250,000 円	施設管理費，在籍管理費
自動車整備科	150,000 円	740,000 円	200,000 円	施設管理費，在籍管理費
グラフィック科	150,000 円	750,000 円	250,000 円	施設管理費，在籍管理費
T V 映像音響科	150,000 円	800,000 円	300,000 円	施設管理費，在籍管理費
クリエイター専攻科	150,000 円	300,000 円	250,000 円	施設管理費，在籍管理費
医療情報管理学科	150,000 円	700,000 円	180,000 円	施設管理費，在籍管理費
医療福祉秘書科	150,000 円	600,000 円	180,000 円	施設管理費，在籍管理費
医療福祉事務科	150,000 円	600,000 円	180,000 円	施設管理費，在籍管理費
こども学科	150,000 円	600,000 円	120,000 円	施設管理費，在籍管理費
日本語科 2 年コース	80,000 円	550,000 円	0 円	
日本語科 1 年コース	80,000 円	550,000 円	0 円	
修学支援（任意記載事項）				
給付奨学金の採用候補者が，採用候補者決定通知の写しを本校が指定する期日までに提出した場合，前期授業料の徴収を 8 月末まで猶予し，減免後の額を徴収する。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://harada-gakuen.ac.jp/career/wp-content/uploads/2025/06/R06_jikohyoka.pdf
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
（評価項目） ・教育理念・目標（学校の理念・目的は定められているか等） ・学校運営（学園の運営方針に沿った事業計画が策定されているか等） ・教育活動（業界のニーズに沿った教育課程の編成を行っているか等） ・学修成果（就職率の向上が図られているか等） ・学生支援（進路・就職に関する支援体制は整備されているか等） ・教育環境（施設・設備は，教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか等） ・学生の受け入れ募集（授業料等，徴収する金額はすべて明示しているか等） ・財務（予算編成は教育目標・業務計画と整合性があるか等） ・法令等の遵守（自己評価の実施と問題点の改善を行っているか等） ・社会貢献・地域貢献（学生のボランティア活動を奨励，支援しているか等） ・国際交流（留学生の受け入れを行っているか等） （評価委員会の構成） ・企業等の役職員，保護者，卒業生等 （評価結果の活用方法） 教育活動その他の学校運営について，社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し，その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について自己評価を行うことにより，学校としての組織的・継続的な改善を図る。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社鹿児島頭脳センター	2024. 4. 1～2026. 3. 31	卒業生, 同窓会副会長, 企業等委員
社会福祉法人常盤会	2024. 4. 1～2026. 3. 31	企業等委員
株式会社清友	2025. 4. 1～2027. 3. 31	企業等委員
学校法人原田学園 鹿児島情報高等学校	2025. 4. 1～2027. 3. 31	保護者, 企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://harada-gakuen.ac.jp/career/wp-content/uploads/2024/08/R05_gakkouhyouka.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.harada-gakuen.ac.jp/career/
--

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H146310000190
学校名（〇〇大学 等）	鹿児島キャリアデザイン専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人原田学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		176人（ 28）人	165人（ 24）人	一人（ 27）人
内 訳	第Ⅰ区分	81人	72人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅱ区分	24人	21人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	21人	24人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	22人	24人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	28人	24人	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				一人（ 0）人
合計（年間）				181人（ 0）人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	—	—
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	—	—
計	0人	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	—	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	—	0人	34人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	—	—
計	—	—	35人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。